



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成31年 4月 3日

提出者

住所: 宜野湾市我如古3丁目14番1号

氏名: 株式会社 丸内

代表取締役 伊豆味 俊規

電話番号: (098)898-0057~8

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成29年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 丸内		
事業場の所在地	宜野湾市我如古3丁目14番1号		
事業の種類	建設業・総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2495.19 t	全処理委託量	2495.19 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2495.19 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2493.19 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	2.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排出量	4933.96 t	0.39 t
	(これまでに実施した取組) 分別工法等の見直しを進め、前年度に比べて再生資源量を増やす事により環境保全に貢献を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排出量	4933.96 t	0.39 t
	(今後実施する予定の取組) 更なる施工工法及び分別方法の見直しを行い、再資源量を増やし環境保全に貢献を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くずを解体時に選別し、角材等については自社建設工事等にて再利用を行っている、又混合くずも極力分別し再生利用できるものを分別している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 手選別を徹底し、特に廃プラスチック類を再生資源とし利用できるようにこまめに分別を行っていく。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋め立て処分又は海洋投入を行った事は無い。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 今後も埋め立て処分及び海洋投入を行う予定は無い。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	4933.96 t	0.39 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4933.96 t	0.39 t
	再生利用業者への処理委託量	4933.96 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	4933.96 t	0.39 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4933.96 t	0.39 t
	再生利用業者への処理委託量	4866.5 t	0.12 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取り組み) 手作業による解体分別を行い、資源ごみとして再利用及び再生を行う事により廃棄処理量の減量を行っていく。</p>			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。